

# 「関西医療・ヘルスケア産業 DX ビジネス推進コミュニティ/KRIC/地プロ」

## KRIC フォーラム「再生医療の新たな展開・可能性と標準化の動向について」

今回のフォーラムでは、毎回講演を頂いている武部教授より ECMO を代替する可能性を秘める腸呼吸の最新情報および目的外転用の新たな再生医療の可能性をご紹介します。TOA(株)の宮田様からは、体内ではさまざまな臓器が連携して活動していますがその変化を音を通じて早期に検知する可能性について紹介して頂きます。さらに再生医療の産業化を目指す業界団体である再生医療イノベーションフォーラム (FIRM) から ISO における標準化の動向についてもご紹介を頂きます。併せて、特徴ある企業による製品紹介も行う予定ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時	令和4年9月9日(金) 13:30~17:00 (受付 13:00~13:30)
場所	アンカー神戸 イベントホール (〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4丁目2-1 神戸三宮阪急ビル15階)
対象	再生医療で事業展開している企業または参入を検討している企業 金融機関、ファンド、公的産業支援機関等のサポート機関 など
定員	50名程度 (定員を超えた場合は主催側で調整することがあります)
開催方法	現地開催のみ (オンライン配信は行いません)
参加費	無料 【要事前申込】
主催	公益財団法人新産業創造研究機構 (NIRO)、近畿経済産業局 関西再生医療産業コンソーシアム (KRIC)、兵庫県「兵庫県地域活性化雇用創造プロジェクト (地プロ)」、大阪商工会議所
申込先	NIRO 技術移転部門 健康・医療部 西野 (nishino@niro.or.jp) (メール件名を『【地域DX】9/9参加申込』とし、本文に所属・役職・氏名・住所・電話・メールアドレス、等をご記入下さい)
申込期限	9月6日(火) 17時

(プログラム) [都合により時間配分を変更する場合があります]

13:30~13:35	<b>主催者挨拶</b> 近畿経済産業局
13:35~14:30	<b>講演①</b> テーマ: 「臓器リパーパシグ研究の最前線—腸呼吸の可能性」 講師: 武部 貴則 氏 (東京医科歯科大学 統合研究機構 教授 横浜市立大学 コミュニケーション・デザイン・センター センター長 シンシナティ小児病院 オルガノイドセンター副センター長 シンシナティ小児病院 消化器部門・発生生物学部門 准教授)
14:30~15:00	<b>講演②</b> テーマ: 「"音"の技術を活用したウェルビーイングへの取組み」 講師: 宮田 哲 氏 (TOA 株式会社 開発室)
15:00~15:15	休憩
15:15~15:45	<b>講演③</b> テーマ: 「再生医療等製品の開発や製造を支える国際標準とは ~「あったらいいな」の標準を目指す ISO 標準化活動の紹介~」 講師: 能見 淑子 氏 / 門脇 正和 氏 (FIRM ISO/TC 276 国内委員会 (千代田化工建設(株)/シスメックス(株)))
15:45~16:30	<b>企業ピッチプレゼン</b>
16:30~17:00	交流会 (名刺交換)

公益財団法人新産業創造研究機構 (NIRO) は、令和4年度地域新成長産業創出促進事業費補助金 (地域 DX 促進活動支援事業) に、大阪商工会議所 (代表機関)、(株) 産学連携研究所と共に「関西医療・ヘルスケア産業 DX ビジネス推進コミュニティ」として応募して採択されました。また NIRO は、「兵庫県地域活性化雇用創造プロジェクト (地プロ)」を推進しています。これら事業の一環として、今回標題のテーマにて講演会を開催します。

経済産業省近畿経済産業局は、再生医療分野に参入している企業と、新たに参入意欲を有している企業による企業間連携等を支援することによって、再生医療に寄与する製品やサービスの創出・研究開発を促進する「関西再生医療産業コンソーシアム (略称: KRIC)」を2015年8月に設置し、ビジネスマッチングやセミナー、コーディネーターによる支援等を実施しています。

<b>講演①</b>	<b>「臓器リパーシング研究の最前線—腸呼吸の可能性」</b>
<b>武部 貴則 氏</b> 東京医科歯科大学 統合研究機構 教授	<p>新型コロナウイルス感染症による未曾有のパンデミックに際し、人工呼吸器などの高度医療機器にアクセスできず、多くの方が命を落とすに至っている。我々は、魚類が有する能力である腸呼吸に着想を得て、肺呼吸に非依存な「<b>腸換気法 (EVA)</b>」が、哺乳類においても実現可能であることを世界に先駆けて発見した。本講演では、EVA 法の臨床応用に向けた最新動向を議論するとともに、腸を呼吸再生に目的外転用する、いわば臓器レベルのリパーシング (Repurposing) *1) に基づく全く新たな再生医療の可能性を議論したい。</p> <p>*1) 既承認薬や他の疾患の治療のために試験が行われている薬剤を転用すること</p>
<b>講演②</b>	<b>「"音"の技術を活用したウェルビーイングへの取組み」</b>
<b>宮田 哲 氏</b> TOA(株) 開発室	<p>人の体のなかでは、多数の臓器が連携して動き、細胞レベルでは時間の経過とともにさまざまな変化が起こっています。それらの現象を”音”の技術活用により早期に検知できると考え、探索的な取組みをすすめています。</p> <p>公共空間での拡声・放送により培った専門メーカーとしての”音”の技術を、産学・異業種連携によりウェルビーイングへ活用する弊社取組みをご紹介します。さらなる可能性についてディスカッションさせていただきたく考えています。</p>
<b>講演③</b>	<b>「再生医療等製品の開発や製造を支える国際標準とは          ～「あったらいいな」の標準を目指す ISO 標準化活動の紹介～」</b>
<b>FIRM ISO/TC 27          国内委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能見 淑子 氏            千代田化工建設(株)            フロンティアビジネス本部            ライフサイエンス事業部</li> <li>・門脇 正和 氏            シスメックス(株) ビジネス            インキュベーション室</li> </ul>	<p>再生医療分野の開発や製造では、様々な技術を利用し、関連業者も多く関係しますが、お互いの「要求事項」や「提供できるレベル」がうまく伝わらず苦労したことはありませんか？</p> <p>ISO/TC276 では、「一貫性のある」分析や製造を構築するための標準（共通言語）を作成しています。ユーザーを始めとした関連企業や規制当局から標準化のニーズを集め、“今、あったらいいな”の国際的な標準の作成を目指して各国で協調して取り組んでいます。FIRM*2) では再生医療産業化をビジョンに掲げ、ISO 標準開発、認証制度構築を推進しています。今回はこれらの活動の概要をご紹介します。</p> <p>*2) FIRM：再生医療イノベーションフォーラムの略称、再生医療分野の業界団体、firm.or.jp</p>

<b>KRIC 企業 技術紹介ピッチプレゼン</b>		